

f-6 四国の天然杉

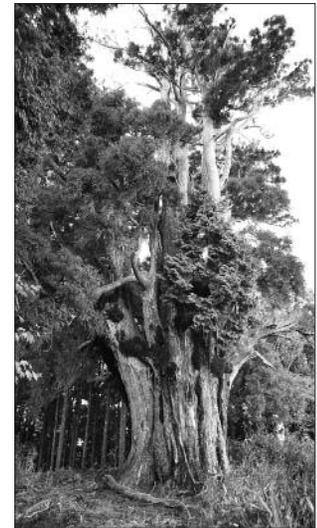
おばけ杉 評価 A

幹周 M8.27m(1.3m 2012) 樹高 24m
高知県安芸郡馬路村魚梁瀬

尾根の頂上にあり、地上2~4mで10分岐する。中心の主幹はさらに4分岐し、全体として帚状に立上がる樹形だ。主幹には緑の苔が付き、樹形からおばけ杉と呼ばれる。

主幹が根の集合体に見える事から、古株更新の可能性が高い樹形だ。

魚梁瀬は、杉の日本三大美林に数えられる魚梁瀬杉の産地として知られる。高知から室戸岬に向かい、さらにほとんど直線コースのない谷沿いの道を延々と登る。ほんとうにこんな山奥に人が住んでいるのかと不安になった頃、魚梁瀬ダムが見えてくる。魚梁瀬はダム湖のほとりに位置する小さな集落である。魚梁瀬杉の産地は、ここからさらに山奥に入った一帯である。その魚梁瀬杉のルーツではないかと思われる天然杉の巨木が、スギとしては考えられない立地である尾根の頂上にある。





あさひでやま
朝日出山の大杉 評価 A

幹周 10.0m 樹高 27m
高知県安芸郡馬路村朝日出山

登山口から約 20 分の山中にあり、馬路村の守り神となっている天然杉の見事な一本杉。「細井の大杉」とも。樹下に小さな祠がある。(写真・Web 画像)



■**枯死した天然杉**

やどやすぎ
宿屋杉 評価 A

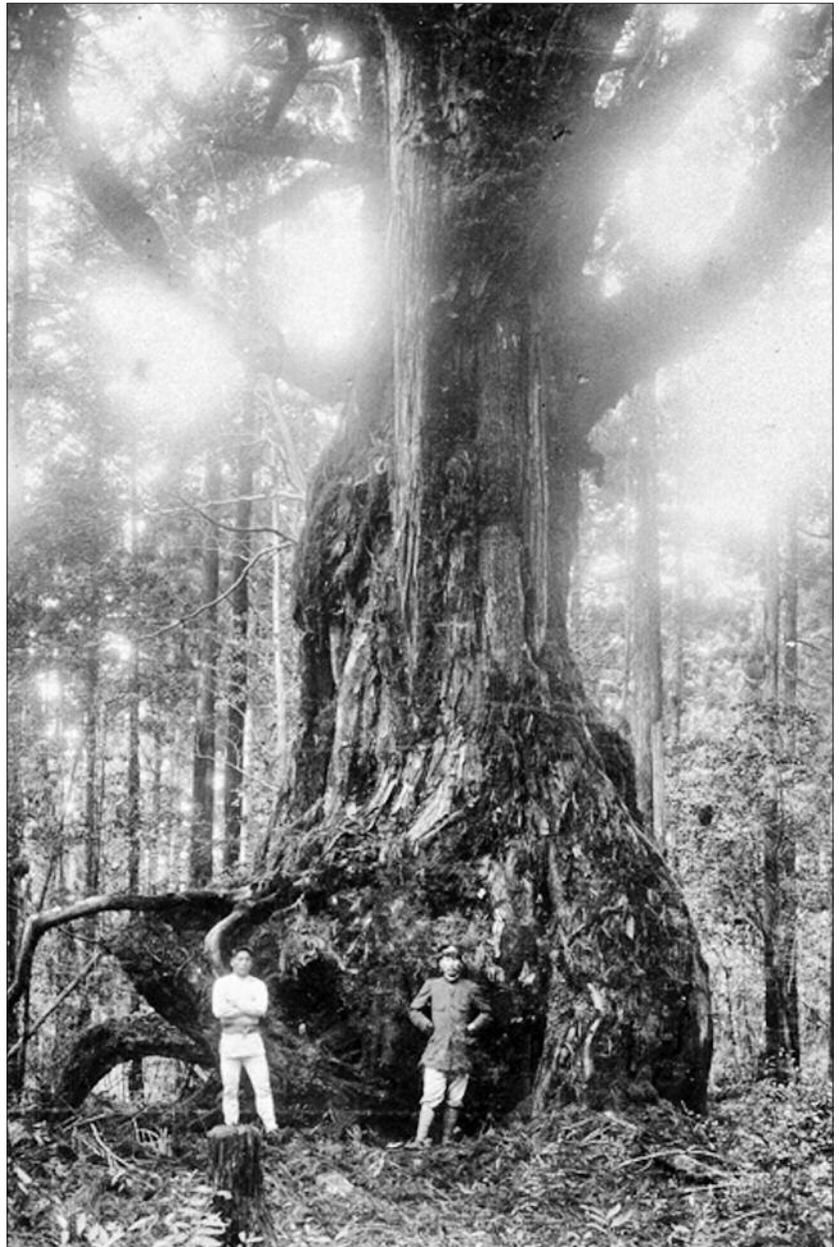
株周 16.6m 樹高 32m
高知県安芸郡北川村

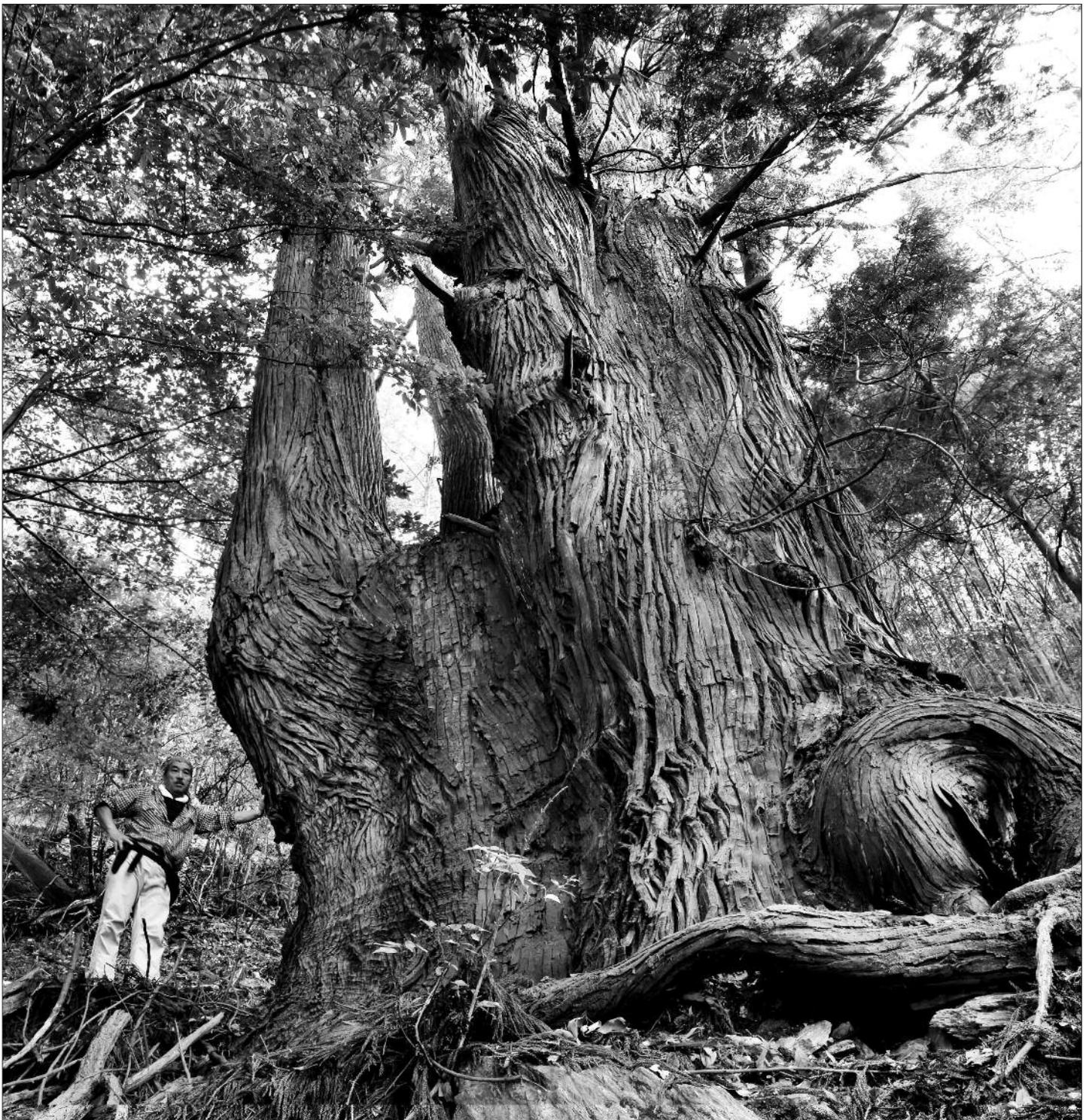
(昭和 19 年室戸台風で破損・枯死)高知県野根山街道にあった天然杉の巨木。現在根元が残されている。(下写真・Web 画像)

根元の空洞は 4 畳半で、大人 5 人が泊まれたという。古株更新と考えられ、根上り樹形になっている。



(写真・Web 画像)





こうせ
高清の大杉 評価 A

幹周 M9.3m(1.3m 2015)

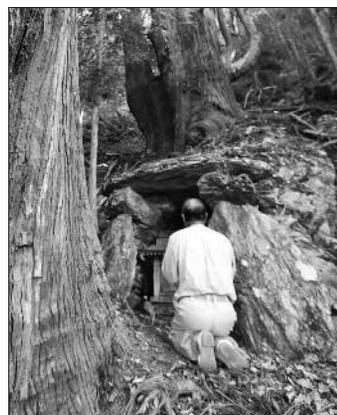
樹高 40m

徳島県美馬郡つるぎ町高清

限界集落になった高清集落の
 守り神として、古くから崇敬さ
 された大杉。標高400mの尾根直
 下の急斜面にあり、取付け道も
 なく、ガイド無しには到達でき
 ない場所。

3mで大小5分岐する樹形で、
 古株が見られない事から、実生
 伏条の樹形であろう。直下に上
 部で3分岐する「三又杉」が
 あり、その樹下に「大杉様」の祠
 が石によって囲まれ、村人達に
 拝まれている。

▼三又杉



▲大杉様に取材許可を得て戴いた。
 御参りする持ち主の南荘太郎氏。



だん たにやま
段ノ谷山の天然杉

高知県室戸市佐喜浜 段ノ谷山国有林

佐喜浜から林道を17_㌾程登った奥地の尾根に、天然杉の群生地がある。急な尾根伝いの山道沿いに、昭和63年に命名された天然杉の巨木が33本。急斜面に立つため、幹周の測定等が困難であるため、多くは安芸森林管理署によって測定されたデータを参考にした。

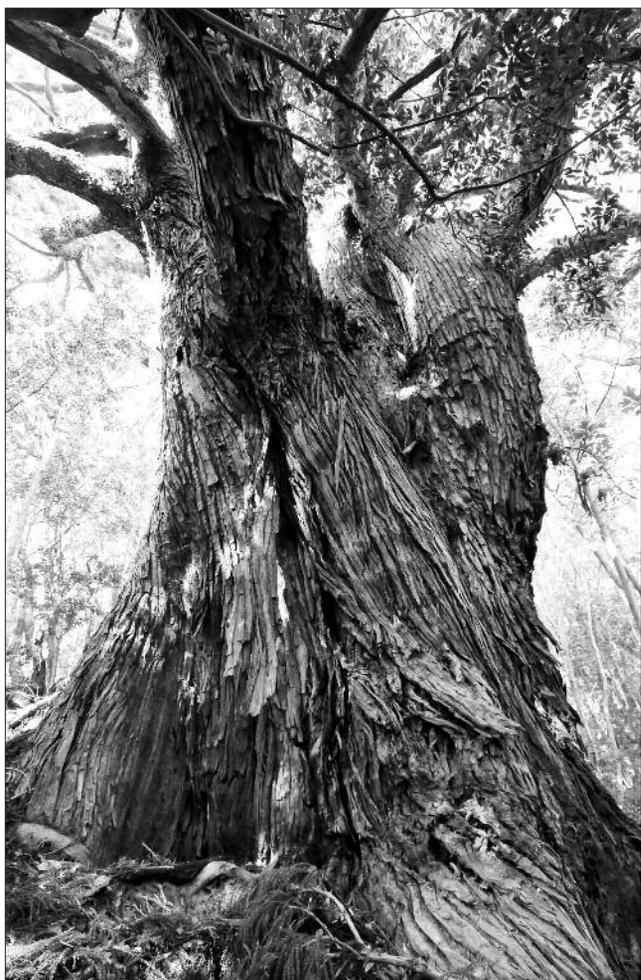


だんのたにやま
段ノ谷山の**大杉** 評価 A

幹周 M12.53m(1.3m 2015)
樹高 35m

ガレた急斜面に立ち、古株更新の樹形である。4本の幹が立上がり、一本が破損、群生地最大の天然杉である。





ごくうすぎ
悟空杉 評価 B

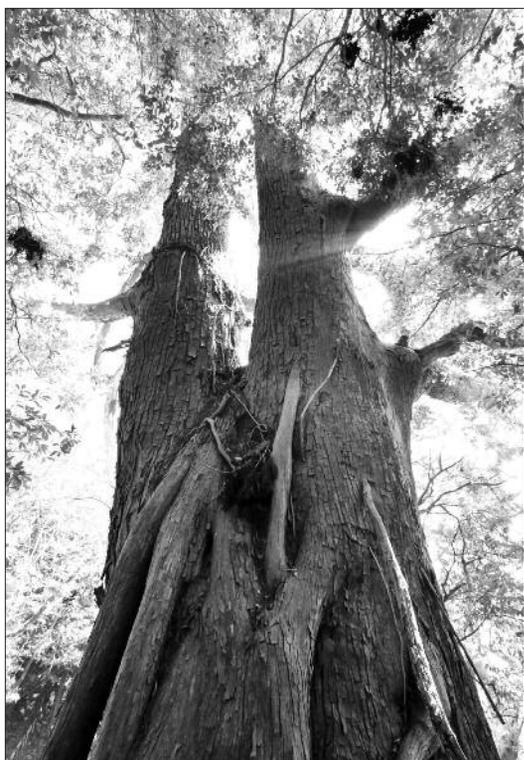
幹周 8.4m 樹高 40m

3m で 2 分岐する古株更新の樹形。主幹左下に古株が残っている。背後に 2 本の幹が斜上、堂々たる姿である。

しまいすぎ
姉妹杉 評価 B

幹周 9.0m 樹高 35m

急斜面に立ち、3m で 2 分岐する。古株更新のようで、着生部である分岐下から、多数の不定根が出て、発達過程を物語る。



におうすぎ
仁王杉 評価 B

幹周 9.0m 樹高 32m

根元近くでの古株更新の樹形。背後に、後から伸びた伏条幹が 2 本、主幹と癒着して伸びる珍しいもの。

だいまおうすぎ
大魔王杉 評価 B

幹周 8.0m 樹高 38m

単幹樹で、5m 付近から出る大枝が異様な雰囲気醸し出している。

